

感染制御と栄養のコラボレーション

日 時 2016 年 7 月 2 日(土) 12:30~16:00 (受付 12:00~)

会 場 時事通信ホール (中央区銀座 5-15-8)

東京メトロ日比谷線・都営浅草線の東銀座駅(6 番出口)から徒歩 1 分

参加費 3,000 円

ごあいさつ

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科は 2007 年に社会人として仕事を継続しながら履修し研究できる大学院として設置され、実績を挙げてきました。

研究分野も最初にできた感染制御学領域を中心に、看護マネジメント学領域、医療栄養学領域など 8つの領域に広がり、向学心に燃えた院生が全国各地から集まり充実した教育研究が行われております。その研究結果の一旦を社会に還元し、ご意見を頂くために 2008 年から大学院公開講座を開催しており、今回は 9 回目となります。



これまで、病原微生物の同定には主として病原体の分離培養法が行われて参りましたが、最近、より迅速に同定できる「MALDI-TOF 質量分析法」が開発され注目されています。本大学院におきましてもこの手法を用いた研究が始まりました。

今回の公開講座では第 1 部で特別講演 1 として「MALDI-TOF 質量分析法」の権威である東京医科大学微生物学分野の大楠清文教授をお招きし、最新の情報をお話し頂くことになっております。

本学大学院からは松村有里子講師が質量分析法の医学への応用について、また、医療栄養学領域からは世界的なフグ毒の研究者である本学大学院 野口玉雄教授にフグが毒を持つようになるメカニズムについて、食事と発がんに関する疫学的研究を進めている鈴木礼子准教授から、乳がん予防についてライフステージ別に分かりやすくお話いたします。

第 II 部では本学大学院修了生による研究成果報告 2 題に引き続き、特別講演 2 として東京大学医学部附属病院手術部 深柄和彦准教授による感染症と栄養のかかわりをお話いただく予定と致しております。

是非、お誘いあわせの上ご参加ください。

東京医療保健大学 学長

大学院医療保健学研究科 研究科長 木村 哲

プログラム(予定)

(司会:医療保健学研究科 教授 大久保 憲、医療保健学研究科 教授 小西 敏郎)

第 I 部

(敬称略)

特別講演1 「質量分析の世界1-新しい臨床微生物検査法-

東京医科大学 微生物学分野 教授 大楠 清文

教育講演1 「質量分析の世界2-サイエンスとメディカルの橋渡し-

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 講師 松村 有里子

教育講演2 「フグの毒化機構」

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 教授 野口 玉雄

教育講演3 「栄養・運動と乳がん予防について」

東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授 鈴木 礼子

第 II 部

研究発表1 「*Staphylococcus epidermidis* におけるバイオフィルム形性能と MALDI-TOF MS によるマススペクトルの関連性」

2015 年度 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程(感染制御学)修了生
安藤 隆

研究発表2 「血中微量栄養素から見た胃癌・大腸癌周術期の栄養状態の研究」

2015 年度 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程(医療栄養学)修了生
ワトキンス 彩子

特別講演2 「より良い感染制御をめざして:なぜ栄養が重要なのか？」

東京大学医学部附属病院 手術部 准教授 深柄 和彦

お申込み方法

大学ホームページ(<http://www.thcu.ac.jp>)より参加申込書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し、E-mail又は FAX にて大学院事務室までお申込み下さい。

●メールによる申込み●

宛先: info-master@thcu.ac.jp

メール件名: 「大学院公開講座 参加申込み」

メール本文に参加申込書をファイル添付して送信して下さい。

●FAX による申込み●

送信先: 03-5421-2081

参加申込書にご記入のうえ、FAX 送信してください。

* 定員に達し次第、申込みの締切りをいたします。

【主催】 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 (品川区東五反田 4-1-17)

【問合せ】 医療保健学研究科 大学院事務室

Tel 03-5421-7685

Fax 03-5421-2081

Mail info-master@thcu.ac.jp

【大学ホームページ】 <http://www.thcu.ac.jp>